

事務事業評価表(既存事業)

コード 4-2-1	事務事業名 市民農園運営事業	所管部課 市民生活部産業振興課
--------------	-------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市が借り受けた農地において、市民が自らの手で野菜を栽培することを通して生産の喜びを知り、農業に対する理解を深める(旧保谷エリア事業で市街化農地で実施)。	総合計画上の位置づけ (政策)環境にやさしいまちづくり (施策)みどりの保全・活用(環1-1) (主要施策)市民農園等の推進
	実施内容、実施方法 市内に4ヶ所ある市民農園の管理事業(平成17年度1ヶ所開設予定) 市民農園(237区画)を237人の市民が利用している(利用率100%)。 利用希望者多数のため、抽選で利用者を2年に1回決める。 倍率は2~5倍。除草についてはシルバー人材センターに委託。	根拠法令等 西東京市市民農園運営要綱
	事業開始時期 平成13年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 区画数	活動指標の考え方(定義) 市民農園として利用者に貸し出している区画数(平成16年度 237区画)
	成果指標名 保全率	成果指標の考え方(定義) 市街化区域農地面積のうち、市民農園が占める面積の割合
	満足度	利用者がこの事業に満足した割合(全区画数の30%程度を抽出しアンケートを行う)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		534	695	543	4,273	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		534	695	543	4,273	
	所要人員(B)	人	0.17	0.17	0.17	0.22	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,402	1,406	1,416	1,832	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	1,936	2,101	1,959	6,105	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(区画数)	千円	7	8	8		
	歳入	千円	116	149	89	0	
	活動指標	目標値	区画			237	239
		実績値	区画	261	261	237	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	%			2.12	2.12	
	実績値	%	2.14	2.25	2.12		
成果指標	目標値	%			-	100	
	実績値	%	-	-	-		

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	市民農園増設の希望あり(特にアンケートは行っていないが、申込人数に対し現区画数では対応できていないので)。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	多摩26市ほぼ全市が実施している。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	利用期間2年 実費負担(一年間あたり水道使用料相当分500円)

コード 4-2-1	事務事業名 市民農園運営事業	所管部課 市民生活部産業振興課
--------------	-------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	例年、区画数に対して利用率は100パーセント
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	市民が農作業を通じて、土に親しみ、自然に親しむ中で人間的な豊かさがはぐくまれる。 申込者数に対して、区画数が不足している。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	一年間で市民が負担するのは水道使用料相当分500円のみであり、費用対効果に見合った見直しが必要である(多摩各市と比較してもかなり低めの設定である)。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	・費用負担について家族農園(旧田無エリア事業で主に生産緑地で実施。原則として年間7,200円負担)との関係で、公平性に問題あり。 ・名義貸しが発生している。
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	今後、市民ニーズを勘案し必要に応じて増設を図っていく。平成17年度に1ヶ所(富士町)増設する。

17年度における改善点	平成17年度に富士町六丁目に1ヶ所増設する。(103区画) 負担金については、18年度予算で反映させる予定(除草委託料分を割り戻して負担金に加算する等)
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	当初計画どおり継続実施とする。 除草等維持管理経費は市が負担しているため、平成18年度予算に向けて受益者負担の適正化を図る。
--------	---	---

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
  - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
  - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
  - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
  - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
  - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。